

## 概要

名称 ガバナンス研究科ガバナンス専攻  
課程 専門職学位課程  
学位名称 公共政策修士（専門職）  
学生定員 入学定員 50 名， 収容定員 100 名  
設置形態 専門職大学院  
授業時間 平日夜間及び土曜日昼間・夜間  
修業年限 2 年  
修了要件 40 単位以上の修得とリサーチ・ペーパー  
（コース別単位要件あり）  
履修上限単位数 36 単位（1 年間）



# 明治大学公共政策大学院 ガバナンス研究科

## ガバナンス研究科で学ぶ政治家からのメッセージ



成澤 廣修 【1期生】  
（文京区長）

この大学院に来たからこそ区長に当選したと確信しています。政策を学び、志を磨く場所です。そして党派を超えたネットワークも魅力です。



佐竹 ゆり 【2期生】  
（綾瀬市議会議員）

政治活動や子育てとの両立で苦しいときもありましたが、政策を学ぶ喜びによって通いました。ガバナンスで学んだのは人生最大の収穫です。



松原 忠義 【4期生】  
（大田区長）

青山教授に、大田区基本構想審議会の会長にご就任いただきました。これを機に、知識を広げたく入学しました。今、生きた学問を学んでいます。



山崎 英昭 【1期生】  
（西東京市議会議員）

一番よかったのは行政職員や民間会社員そして市民活動家の本音を聞けることです。議論の中で政策の本質にアプローチできます。



添野 ふみ子 【4期生】  
（さいたま市議会議員）

行政の手の内を知ることができました。ガバナンスを学び、議論することにより議員活動の質的向上をはかることができます。



早坂 よしひろ 【1期生】  
（東京都議会議員）

初回の都議選は、無所属・最下位落選。そこで浪人中、奨学金を借り、働きながらガバナンス研究科で「政策」を猛勉強した結果、在学中に自民党の候補者公募に合格、都議に当選しました！



大高 拓 【4期生】  
（葛飾区議会議員）

ここで学ぶことにより、自分の政策の根拠と厚みが増します。政策形成能力とアピール力と両方学んでいます。



小川 智之 【1期生】  
（千葉市議会議員）

頑張って卒業しましたが、ずっといるべきだと思いました。実は今でも通って先進の政策を学んでいます。



星野 已喜雄 【2期生】  
（沼田市長）

行政執行者の責任ある立場にとって、喫緊の課題に対応できる実践型の学舎であり、政治家としての感覚が磨かれます。充実していたので遠距離感はありませんでした。



大桑 正貴 【4期生】  
（横浜市議会議員）

出自の異なる人どおしが党派を超えて対等に議論することにより自分が磨かれます。これが本当の大学院と知りました。



松崎 秀樹 【1期生】  
（浦安市長）

ここで学んだことが具体的な政策判断において、ひとつひとつ役に立ちました。授業料を払った分以上に十分、元をとったと思っています。

1 期生・・・2004 年度入学  
2 期生・・・2005 年度入学  
3 期生・・・2006 年度入学  
4 期生・・・2007 年度入学

## 連絡先

住所：〒101-8301  
東京都千代田区神田駿河台 1-1  
アカデミーコモン 10 階  
明治大学専門職大学院グループ  
電話：03-3296-2397  
HP: <http://www.meiji.ac.jp/mugs2/>  
＜御茶ノ水駅より徒歩 3 分， 神保町駅より徒歩 5 分＞



ガイドブックの無料送付もおこなっております。詳細は上記連絡先までお問い合わせください。

## 自治体議員の政務調査費と公共政策大学院学費

自治体議員の政務調査費の使途をめぐるのは、かねて新聞報道による厳しい論評が行われており、その一つに公共政策大学院の学費の問題がとりあげられたケースがあります。これについては、すでに区議会議員の学費支出の当否を論じた住民訴訟判例(判例集未掲載)があり、そこでは、議員が、政務調査費を用いて、公共政策大学院に学ぶことの意義が高く評価されています。以下、その内容(地裁判決・高裁判決 [本件確定])をご紹介します。

○「地方分権推進の流れの中で、自治体にも福祉行政、環境行政、都市計画など複雑高度な問題に対する対応能力が要求されるようになることに鑑み、同党派所属議員の政策立案能力や法務能力の向上を図るため、同党派の議員・・・を明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科に派遣したことが認められ、こうした経緯に同ガバナンス研究科の前記研究、教育内容に照らせば、(議員の)通学は、(議員)個人の能力を高め、それを区政に還元させることを目的としたものであり、また客観的にも区政の充実に役立つものとみることができるところから、これを区政とは関係のない(議員)個人の知識、能力の取得にとどまるものであるということは到底できない。したがって、控訴人(原告)の(政務調査費の目的外使用との)主張は理由がない」(東京高裁平成 18 年 11 月 8 日/平成 18 年(行コ)第 211 号)。

## カリキュラム

「ガバナンス研究科」は、政治や行政について、これからの世の中に必要とされる広範な「知識」を備えた専門家を育てようとしています。その目的を達成するために、「公共政策」に関する課題発掘・立案・決定・実施・評価に至る一連の政策形成過程に基づく科目編成を行っています。とりわけ、政策の展開過程における政治・行政学的見地、法律的一貫性、経済学的能率性ととともに、環境・資源問題を含めて、国際的見地を重視しています。

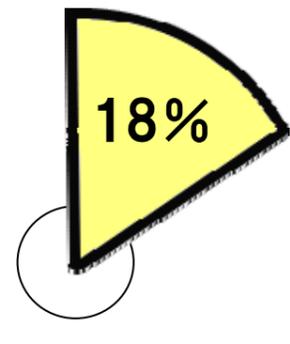
政治・行政、経済・財政、法律の3分野を基幹科目群として配置し、それらを具体的に把握、理解するための応用科目群として政策分野研究科目を豊富に配置し、ガバナンスをめぐる諸相の理解を目指します。さらに、政策の対外発表能力涵養のための演習科目を用意しています。

## 議員・首長学生の構成

### 業種別構成比率

本研究科の学生のうち18%が議員及び首長の方になります。

【2008年度4月1日現在】



### 議員・首長学生数

【入学年度別】

2004年度（1期生）

**14名**

2005年度（2期生）

**12名**

2006年度（3期生）

**5名**

2007年度（4期生）

**8名**

## 授業時間

### 月～金曜日

6時間目 18:55～20:25

7時間目 20:30～22:00

### 土曜日

1時間目 9:00～10:30

2時間目 10:40～12:10

3時間目 13:00～14:30

4時間目 14:40～16:10

5時間目 16:20～17:50

6時間目 18:00～19:30

7時間目 19:40～21:10

※その他、日曜日・祝日を利用した集中授業も実施しております。

## 学費

項目	金額(円)
授業料	1,100,000
教育充実料	230,000
学生健康保険組合費	2,500
<b>合計</b>	<b>1,332,500</b>

※ その他、入学時に入学金として28万円（本学卒業生は半額）の納入が必要になります。

**奨学金制度も充実しております。**

## 教員紹介

【 < >内、担当科目例】

### 専任教員

**市川 宏雄** 【教授】

先進国の大都市圏の都市問題を分析する一方、途上国の開発計画等にも従事。様々な審議会、学会等の役員を務める。専門職大学院長兼ガバナンス研究科長。Ph. D.。  
<都市政策研究, 政策研究II-A>

**中邨 章** 【教授】

海外の大学での教鞭、国連の行政専門委員、国内外の学会会長等、行政分野で幅広く活躍。副学長および大学院長を歴任。Ph. D.。  
<ガバナンス研究>

**青山 侑** 【教授】

都庁での36年間の勤務で多くの役職を歴任。1999年から副知事としての4年間に、財政・都市構造・危機管理・防災等を担当し、現職へ。  
<政策創造研究, 自治体経営研究>

**中川 雄一郎** 【教授】

国内外の協同組合学会で役職に就く。NPO活動等にも広く従事。英国ヨーク・セント・ジョン大学より名誉学位を授与。  
<社会的企業論>

**北大路 信郷** 【教授】

自治体、総務省、国土交通省等で政策評価、行政マネジメントに関する委員を歴任。成果主義に基づく行政経営システムを確立。  
<公共経営研究, 政策評価研究>

**村上 順** 【教授】

自治体法学の確立を目指す。首都圏の自治体において、行政法・地方自治法の研修を広く担当。各種審議会委員を歴任。自治体法学の確立を目指す。法学博士。  
<行政法研究I, 自治体条例研究>

**山下 茂** 【教授】

国・県・都市での幅広い行政経験。自治省の地域政策や国会担当の課長、審議官、和歌山県副知事、(財)自治体国際化協会パリ事務所長を経て現職。  
<国際比較行政研究, 公務員研究>

**兼村 高文** 【教授】

大学での教育活動のほか、シンクタンクや自治体で実地調査を手がけ、税財政改革支援に参画。各学会理事も務める。  
<国際比較財政研究, 財政研究>

**笠 京子** 【教授】

英国ストラスカライド大学政府学部大学院でNPM(民間の企業経営手法を応用した政府・行政部門の運営方法)改革を研究。  
<公共政策研究, 行政学研究>

**源 由理子** 【准教授】

国際協力機構(JICA)、(財)国際開発高等教育機構(FASID)勤務を経て、国際開発分野におけるコンサルティング業務に従事。  
<国際協力研究, 社会開発論研究>

**松沢 成文** 【客員教授】

慶應義塾大学法学部政治学科卒業。1987年、県政史上最年少議員として初当選。以後、国会議員をつとめ、2003年3月には神奈川県知事に当選。2008年現在2期目を務める。  
<政策研究II-E>

**与謝野 馨** 【特別招聘教授】

通産大臣・文部大臣・内閣官房副長官・金融・経済財政担当大臣・内閣官房長官を歴任。自由民主党税制調査会長。国会では衆議院商工委員長、衆議院議院運営委員長等を歴任。  
<政策研究V(特別講義)>

### 兼任教員(一部紹介)

**青木 一能**

慶應大学大学院政治学博士。専門は国際関係論、現代アフリカ政治論。  
現職：日本大学文理学部教授  
<比較外交政策研究>

**江島 晶子**

明治大学大学院法学博士。King's College, University of London 客員研究員、専門は憲法、国際人権法。  
現職：明治大学法科大学院教授  
<憲法研究>

**熊井 利廣**

三鷹市役所(児童福祉課等)を経て現職。青梅市次世代育成支援地域協議会委員長。  
現職：杏林大学保健学部准教授  
<政策研究I-C>

**長谷 憲明**

早稲田大学商学部卒業。東京都入都。専門は介護保険等福祉政策。三木市社会福祉審議会会長、NPO法人理事。  
現職：関西国際大学経営学部教授  
<政策研究I-B>

**成田 浩**

東京都産業労働局、港湾局、財務局、衛生局等のほか、内閣官房都市再生本部やNY駐在員などの幅広い行政経験を生かしての政策コーディネーション。  
現職：(財)自治体国際化協会監事  
<政策研究II-D>

## 入学試験情報

**入学定員：**

50名

**選抜方法：**

(1) 小論文(I・II期入試のみ)

(2) 面接

**試験日程：**

**2008年9月入学**

〔秋季入試〕2008年7月26日(土)

**2009年4月入学**

〔I期入試〕2008年11月15日(土)

〔II期入試〕2009年2月7日(土)

※ 入学試験の詳細および要項の販売については裏面の連絡先へお問い合わせください。